

1. 調査報告概要表

作成日 平成 21年 5月 15日

【評価実施概要】

事業所番号	2794000147		
法人名	社会福祉法人 甲有会		
事業所名	グループホームロココ		
所在地	大阪府豊中市宝山町7-8-1 (電話) 06-6858-1577		
評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8-2号		
訪問調査日	平成21年4月21日	評価結果確定日	平成21年7月15日

【情報提供票より】 (21年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 20年 5月 1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤11人, 非常勤5人, 常勤換算13.8人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3階建ての	2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	78,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) (900,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	(有) / 無	
食材料費	朝食	350 円	昼食	420 円
	夕食	525 円	おやつ	105 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要 (4月1日現在)

利用者人数	17 名	男性	6 名	女性	11 名	
要介護1	3	要介護2	5			
要介護3	7	要介護4	4			
要介護5		要支援2				
年齢	平均	84.1 歳	最低	71 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 翠明会	千里山病院
---------	----------	-------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平成20年5月新設のグループホームである。駅から近い住宅街に位置し、近隣に商店・公園・図書館などがある、閑静で生活しやすい環境に恵まれている。外観・内装共に美しく、木材を使用した落ち着いた高級感のある生活空間が提供されている。デイサービスが併設され、敷地内に特別養護老人ホームがあり、イベント・クラブ活動など生活に幅を持たせると共に、近隣に診療所があり健康管理の面でも大きな安心を得ている。開設2年目を迎え、地域交流・職員育成などに力を入れ、サービスの質の向上に向けて、計画的に着実に取り組んでいる姿勢と熱意が感じられる。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4) 職員の意見を集積し、リーダー・副施設長が、自己評価票を完成させた。法人内の内部監査と共に、外部評価を活用して、サービスの質の向上に反映させるよう取組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6) ご利用者・ご家族・自治会会長・民生委員・市職員・地域包括支援センター職員・知見者が参加し、2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。ホームの現状・ご利用者の生活の報告、行事予定の紹介などを行なうと共に、課題などを提示し意見・情報交換を行い、サービスの質の向上に活かせるように取組んでいる。会議録は、館内に掲示すると共に、必要に応じて郵送し、ご家族に報告している。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8) ご意見箱を設置すると共に、ご家族が面会時に意見・不満・苦情が話しやすいような雰囲気・機会作りに努めている。運営推進会議・家族会も、ご家族の意見・不満などが聴取できる機会として活用している。聴取した意見・不満などは、連絡ノートで職員に申し送り、内容に応じて苦情報告書を作成し、法人に報告している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)
	開設1年目ということもあり、夏祭りなど地域行事への参加から、地域との交流への取り組みを始めている。運営推進会議などを通して、地域とのつながりを深めるよう努めている。

2. 調査報告書

主任調査員氏名 森 洋子 / 同行調査員氏名 植田 元子

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1.理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念に基づいて、グループホームの理念を作成している。1.私たちはここを込めたケアをめざします 2.その人の尊厳を守ります 3.ケアの質の向上を目指します 4.笑顔で過ごせる空間を作ります 5.地域交流を深めます 平成18年の改正介護保険法で新設された地域密着型サービスとしての役割を目指した内容となっている。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	グループホームの玄関に、法人理念・グループホームの理念を掲示し、職員に文書を配布することにより、日々目に触れるように取り組んでいる。新人研修で説明し、入職時に共通認識が持てるようにしている。		
2.地域との支えあい					
	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	開設1年目ということもあり、夏祭りなど地域行事への参加から、地域との交流への取り組みを始めている。運営推進会議などを通して、地域とのつながりを深めるよう努めている。		地域の自治会などとの連携を深め、地域行事・地域活動への参加・地域の人々の訪問・ボランティアの受け入れなどを進め、ともに暮らす地域住民の一員として、地域で必要とされる活動や役割を担っていく努力を継続されることを期待する。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>職員の意見を集積し、リーダー・副施設長が、自己評価票を完成させた。法人内の内部監査と共に、外部評価を活用して、サービスの質の向上に反映させるよう取り組んでいる。</p>		
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>ご利用者・ご家族・自治会会長・民生委員・市職員・地域包括支援センター職員・知見者が参加し、2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。ホームの現状・ご利用者の生活の報告、行事予定の紹介などを行なうと共に、課題などを提示し意見・情報交換を行い、サービスの質の向上に活かせるように取り組んでいる。会議録は、館内に掲示すると共に、必要に応じて郵送し、ご家族に報告している。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市職員・地域包括支援センター職員の運営推進会議への参加の際に、ホームの情報提供を行なっている。また、大阪府や豊中市のグループホーム部会の連絡会・勉強会に出席し、意見・情報交換を行っている。事故報告・空き情報の問い合わせ・課題解決など、必要に応じて連携をとり、協働関係の構築に取り組んでいる。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ホーム全体の最新情報や日々のご様子はブログの「ロココだより」で公開している。ご利用者の健康状態・生活のご様子など個別の報告は、ご家族の面会の際に行い、面会の少ないご家族には手紙で報告している。緊急時・随時の報告は電話で行い、往診時の診療情報は個別に郵送している。</p>		<p>現在企画・検討中の、ホーム全体の状況・活動を報告する「季刊誌」の発行・定期的な個別の報告のための居室担当者による「おたより」の作成を実現し、継続されることを期待する。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご意見箱を設置すると共に、ご家族が面会時に意見・不満・苦情が話しやすいような雰囲気・機会作りに努めている。運営推進会議・家族会も、ご家族の意見・不満などが聴取できる機会として活用している。聴取した意見・不満などは、連絡ノートで職員に申し送り、内容に応じて苦情報告書を作成し、法人に報告している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>馴染みの関係を重視し、基本的には異動は行っていない。「やりがい」「明るさ」を持って、「技術的・人間的な成長」が実現できるような職場環境を整備し、職員の定着が図れるように取り組んでいる。</p>		

第三者 自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援				
10	19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新入職時に、法人研修と指導担当を配属してのホーム内研修を行っている。今年度から、年間計画に基づいて、併設の特別養護老人ホームとの合同での研修会・グループホーム内の研修会を実施し、職員育成に取組む予定である。		計画された各研修会の定期的な実施と継続による職員育成と、サービスの質の向上への反映を期待する。
11	20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪府や豊中市のグループホーム部会の連絡会・勉強会、大阪府社会福祉協議会の定例会に参加し、同業者との交流に努め、サービスの質の向上に反映できるように取り組んでいる。法人内のグループホーム間での相互訪問・法人研修会への参加の機会を設け、同業者との交流・連携に努めている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
12	26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご利用者・ご家族に見学に来ていただいたり、職員がご自宅などを訪問し、馴染みの関係が構築できるように取り組んでいる。体験利用・デイサービスやショート利用を経てのサービス利用開始など、ご利用者の状況に応じて個別の対応に努めている。		
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
13	27 利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	入居時、面接シート・フェースシート・家族アンケートなどご利用者の生活習慣・生活歴を把握し、力量や希望に合わせて、家事・趣味の継続により、日々の生活の中で役割や活躍の場面を提供している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居前の面接の際、ご利用者・ご家族の思い・意向が把握できるように努めている。入居後に各職員が把握した思い・意向については、介護記録・連絡ノートに記載し、職員全員が共通認識を持って日々のケアに反映できるように取り組んでいる。新たな思い・意向は、計画作成責任者により介護計画にも反映されている。</p>		
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居前の面接、ご家族アンケートから得た情報を基に、ご利用者・ご家族の希望・意向を尊重した介護計画を作成し、作成後は説明し、同意を得ている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>日々の記録や連絡ノートを活用し、職員からの意見による計画の修正、見直し等の取り組みがなされ、ご利用者・ご家族への確認とともに、職員全員に新たなプランが共有され、現状に即したサービスの質の向上に役立っている。</p>		<p>介護計画の変更は行われているが、家族同意のサイン等書面による不備が改善され、各入居者の状態により、3～6ヶ月での定期的な見直しを行う新しい取り組みが定着し、サービスの質の向上に反映される事が期待される。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>個別の屋外散歩により、ご利用者の機能維持に努めている。また、買い物・外食同行の機会も設けている。入居中に対応困難になったご利用者については、ご家族と相談の上、入所・入院の支援を行っている。</p>		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>同一建物の診療所による月2回の内科、心療内科の往診の実施と併設特養への往診医師（眼科、皮膚科、泌尿器科）の往診を希望に応じて行っている。又ご家族付き添いのもと、以前からのかかりつけ医への受診も可能で、適切な受療とその結果が職員全員に共有されている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居の契約時において、自立歩行が出来る人までの入所可であるホームの指針を提示し、ホームとしての考え方や方針について説明し、同意を得ている。入居者の対応困難時は併設特養への入所を勧め退所支援を行っている。</p>		<p>不安無くより良い介護が出来るよう、状況変化に応じた繰り返しの話し合いがなされ、全職員が統一された方針を共有し、重度化や終末期についてのさらなる研修がなされる事が望まれる。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>接遇に対しての言葉掛け等プライバシーへの配慮がなされ、その人の尊厳を守りますと掲げた理念に沿うよう努めている。個人情報に関する研修を実施し、年1回職員に誓約書を書いてもらい、退職後に対する個人情報の誓約書とともに意識の向上を図っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>食事の時間はある程度決まっているが、ご利用者一人ひとりのペースや体調に合わせ、可能な限り変更に応じている。生活活動や屋上、外への散歩等利用者の思いを大切に、柔軟に支援がなされている。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事前のテーブル拭きや食器の準備、配膳、片付け等、職員に見守られながら、ご利用者の出来る力が発揮できるよう支援されている。なべ料理やおやつ等は、各ユニットでご利用者と作る等食事が楽しめ、変化に富んだ工夫がなされている。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>あらかじめ入浴時間は設定されているが、ご利用者の意向や希望に沿って支援がなされている。一人介助又は状態に応じて二人介助がなされ、同性介助を理想としている。ゆず湯等季節に応じ入浴が楽しめるよう配慮されている。拒否のご利用者に対しては、足浴、洗顔等で対応し、納得のいった声掛けがなされている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の配膳や食後の片付け等ご利用者の力を活かした役割が持てるよう支援している。個々の趣味である碁、お琴、百人一首、ゲーム等張り合いや喜びのある日々が過ごせるよう支援がなされている。年間行事計画を立て、ご家族も参加できるイベント作りがなされ、併設特養でのクラブ(フラダンス、習字等)にも参加予定である。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣の公園への散歩、商店街への買い物、図書館等数名での外出、又は希望者に対して個別な外出支援がなされている。雨の日等外出不可能な場合は、併設特養の屋上を利用する等、気分転換や五感刺激に役立てるよう支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は各ユニット間、ベランダ等への鍵は掛けないで過ごせるようにしているが、防犯の為19時～9時までは施錠している。上下階へのエレベータは安全の為ICカードによる開閉である。外出希望時は職員が見守りながらの対応をし、不安感、閉塞感を感じないよう配慮されている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防避難訓練を年2回、昼夜の設定で併設特養と合同で実施している。災害時の食料の備蓄をしており、非常時の対応マニュアルを作り、消防署と連携をとっている。		非常災害時に地域の人々の協力が得られるよう、日頃から良好なコミュニケーションが求められる。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとりの 状態や力、習慣に応じた支援をしてい る</p>	<p>管理栄養士による、カロリー計算のされた食 事が提供されている。食事摂取量や水分量は ケアサービス管理表に記録し、職員全員が目 を通せるよう管理されている。</p>		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台 所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者 にとって不快な音や光がないように配慮 し、生活感や季節感を採り入れて、居心 地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共同生活室においては季節に応じた飾りつけ がされ、ベランダの一部に花を育てたりして おり、落ち着いた雰囲気でも過ごせるよう工夫 されている。職員が安全の為、良く見渡せる ような構造になっているが、管理しているよ うな感が無いよう配慮されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者 や家族と相談しながら、使い慣れたもの や好みのものを活かして、居心地よく過 ごせるような工夫をしている</p>	<p>洗面台、クローゼットは備え付けである。居 室には地震対策の為に、家具の高さ制限があ るが、馴染みの家具、置物、絵、写真、仏壇 等が持ち込まれ、ご利用者がその人らしい、 安心でき落ち着いた過ごせる部屋になってい る。</p>		

は、重点項目。